

# 今夜7時より

市民館3階  
カラ・映・出・公・園  
全曜日

みんなをつくる

## みんなの会館

毎日労働争議団の仕事をこせ向せ会館づくりを  
取材していた関西テレビの15時30分番組の放映白決定  
8月27日(土)午後3時～9月10日深夜1時10分～

# 夜間学校

釜ヶ崎夜間学校  
西成区北島2-5-23  
釜日労働争議団発行

## 釜ヶ崎と女の子供の話

### 男一匹生きるって。。。

夏祭りの期間中に、セ

ンターで、あるいは三島

公園でおこなったマンケ

ーの中で、次のような

ものがあった。

単身の方におたずね

します。一人で釜ヶ崎で

生活して、さびしい

と感じたことはありませんか。

んか。

(イ)ある (ロ)ない (ハ)わ

からない

平均と答えた人、特に

すか。

釜ヶ崎は、非常に女性

のすくない街ですが、この

ことについての、あなたの

意見なり、感想なりを、何

でも結構ですからお聞か

せ下さい。

その他に、ストーリーア

トルコ、藤田などへ行くか

どうかを聞いています。

これらのことを聞くこと

について、週刊誌などの興

味本位のものだという意見

と思う。

釜のマンコかて男、性

欲があつてあたりまえ、な

い方があかしののではない

か。

釜ヶ崎で生きる上での問

題は暴力飯場やドヤ代など

に限ったものではなく、生

き物として根底にある性欲

も無視できぬものとしてあ

ることを考える。

これと関係あるかどうか

知らぬが、全通連西成分会

の行政要求のなかに、釜ヶ

崎の中に結婚相談所を開設

せよ、というのがある。

さて、性の問題は、どの

相手と結果と無縁ではあり

えない。すなわち、男社会

の釜ヶ崎の話は、女と

子供にたどりつく。たいが

いは、生き別れ、死に別れ

男の私が聞くところ、ウーム

男とは悲しい生き物だなあ、

と、たちまち感じいつてしま

うか、女性が聞くところなる

だろうか。

特に、話のどのフマリは、

本心はともあれ、表面に出る

言葉が、女と男は脳がちがう

とか、女はアホだから、と女

を見下げるところにいざつく

について、

今さら考えたところで、時

間はずらぬ、女、子供は、

手におえぬ、馬鹿な存在とし

て、むりして、遠ざけるよう

にするのが、今の生活です。

すにあたっての最後の策、こ

いろ、ことだろうか。そして、

さびしさやモヤモヤが心に

く。

男一匹生きる味、かみし

めた上で、心おきなく死ぬる

誰による、誰のための、何のための

# 調査」だったのか！

## —あんなメンドクサイ調査を なぜやったのかを考えた—

※夏祭りが終わって、最初の夜間  
学校では、今年の夏祭りの感想  
をのべあった後で、この夏祭り  
の期間中に行なわれたアンケート  
ト調査について皆んなで考えた。  
※夏祭りについては、最終日の  
15日にやられた若い人達による  
バンド演奏の評判があんまり良  
くなかったようだ。「来年あんな  
のやったらビール缶がとぶぞ」  
という声もあったし、「わしらの  
夏祭りやと思って参加してるけ  
ど、二んな調子だと、みんな祭  
田の夏祭りの方に行ってしまう。」

と語る人もあった。来年は、皆  
で知恵を出し合って、もっとす  
ばらしい「わしらの夏祭り」を  
つくりあげよう。  
※夏祭りの期間中にまかれた、  
「おれ達のおれ達による、おれ達  
のためのアンケート調査に協力  
を」というビラを読んだ仲間も  
大勢いるだろうと思う。この調  
査は、「笠ヶ崎差別と斗う連絡会  
(準)」に結集した多くの人々や団  
体の発案と協力のもとで、「笠ヶ  
崎の本当の姿、本当の声、本音  
を働く者の側からとらえ返し、

わしらの生き様、考え方をおも  
いきりぶちまけるもの」として  
計画、実行されたのだが、その  
結果、百人以上の仲間が、この  
アンケート調査に快く、協力し  
てくれた。  
前回の夜間学校にも、調査に  
協力してくれた三人の仲間が参  
加していて、彼らを中心にして、  
今回の調査についてみんな話  
しあった。  
「何の役にもたたないだろうが、  
ヒマつぶしで協力した人も  
いた。また、昔のことを根ほり  
葉ほり聞かれて、「ジヤマクサイ  
と思」った人もいた。しかし、  
ある仲間は「調査するのはいい  
が、それをどう実践に役立てて  
いくかが肉題だ」と語ったが、  
たしかにその通りだと思ふ。  
遠い昔の、それもあまり思ひ

出したくもないような過去の、  
職歴や生活についてたずねられ  
て、イヤな思いをした仲間もい  
ると思ふ。しかし、そうやって  
自分の過去を、自分自身で思い  
出し、語ってゆくことによって、  
はじめに見えてくるような何が  
もあるのではないだろうか。  
前回の夜間学校では、調査の  
話から、自然と、みんなが自分  
の過去の生活や職業や結婚につ  
いてのさまざまの経験を語り合  
う方向へと移っていったのだが、  
そこで話された、参加者の仲間  
の過去の経験のなかからも、わ  
しら全員にとって、とても大恵な  
ことがらがたくさん汲み取れる  
ような気がした。わしらの過去  
の生活をもう一度、見直して、  
それをふまえて、更にわしらの  
将来のことにも話し合せてや